

横濱の史跡と名勝 第2日 久保山台地を辿る



清水ヶ丘公園ゆずの木

1. はじめに

東海道本線と京浜急行に挟まれる久保山台地で展開する四次元的路上観察で、「横濱の史跡と名勝(1928年)・第2日」を基にしています。掃部山・伊勢山・野毛山・久保山・清水ヶ丘を進みますが局所的な地名で、台地上に顕著な起伏はありません。各々に横濱の歴史を漂わせます。

ここでは前・後半で案内しますが、駅付近以外に飲食店はないので、ハイキングのつもりで行動して下さい。時速2.0~2.5kmを目安にして、独自の路上観察を計画するのも楽しいと思います。ホームページで往時の様子などを案内しますので、併せて参照願います。



2.1. 前半要点

桜木町駅から日ノ出町駅(5.1km)あるいは黄金町駅(6.7km)までが前半です。「32. 願成寺の墓」ルートを省略すると2.0km短縮します。短時間で古い横濱を少しだけ知るには手頃です。

2.2. 前半案内

01.JR 桜木町駅南改札

地下道で反対側に出て直進。信号有歩道を横断して右折、音楽通りを進む

21. 高高屋学校趾と瓦斯會社趾

本町小門前に復元ガス灯がある。校内の遺構は埋戻した

21A. 掃部山湧水

民家前のパイプから湧出、奥の水庫は後に掃部山から見下ろす

目の前の見事な擁壁は、かつての伊勢山削平の痕跡だろう

21B. 岩亀稲荷

かつて遊郭岩亀楼の静養所にあった。開門中は参拝可。有吉佐和子「ふるあめりかに袖はぬらさじ」参照

案内1. 短縮ルート

少し先を左折して「22. 掃部山公園と戸部役所趾」へ

31. 御所五郎丸の墓

民家の間の狭い一角に、立派な五輪塔。覆屋、謡曲の案内

32. 願成寺の墓

古刹、門を入れて直ぐ右手に平沼家、突き当り階段途中に鎌倉事件・フランス水兵殺害事件下手人、その並びに尾張屋家の墓がある。墓地上から東数100m先に戸部刑場跡、北に三ツ沢台地、その手前が平沼新田等埋立地

30. 戸部刑場趾と暗闇坂

途中まで戻り坂を上る。中程にあった処刑者慰霊碑は平沼久成寺に移設。坂上

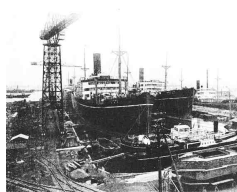
に「くらやみ坂」標柱、脇に小祠。背後の小公園が刑場と伝わる。



マンションの建つ斜面は明治中頃まで監獄、その後は神奈川県庁官舎

22. 掃部山公園と戸部役所趾

旧彦根藩有志が一帯を購入、13代藩主・井伊直弼の銅像を建立。初代銅像は戦時供出、現在は2代目。周辺に案内・水盤、背後は横浜能楽堂(休館中)。坂を上る途中、左下に湧水の水庫が見える。ビルが建ち並ぶ現みなとみらい地区は、かつて三菱重工横浜造船所でクレーンが林立していた。



役所跡は神奈川県立音楽堂・図書館・青少年センターなどの文教施設が建つ。駐車場の大木は歴史を見つめたことだろう。駐車場出入口脇の神奈川奉行所跡碑は後で確認

20. 伊勢山離宮趾

史実のみ。離宮趾は奉行所跡正面のマンション地。横浜正金銀行・東京銀行社宅を経て現在に至る

26. 金星観測所趾

近くの民家に機器据付基台が残るそう。道筋に1874年のメキシコ隊観測の記念碑。付近は第一観測地点、山手が第二観測地点。

直ぐ先に「神奈川奉行所跡」碑

24. 伊勢山皇大神宮

横濱総鎮守。1870(明治3)年、神奈川県知事告諭、横浜の象徴となる神殿を

築く。戸部の古社を再興・遷座。古社は「21A. 掃部山湧水・擁壁」辺りの山上に鎮座していた

裏口から進む。階段途中の手水舎は旧禮典所車寄の転用。本殿、境内社は大神神社と杵築宮・子之大神。正面鳥居脇の塔・照四海、最初の踊り場脇に万葉歌碑、次の踊り場脇に伊勢山碑、鳥居脇石垣内の石の台座に几号水準点(「不」のような記号)が刻まれているが、これは見つけ難い

23. 野毛不動

成田山延命院、時々護摩を焚く音が響く。懸崖造下はかつての野毛浦(村)。左手の崖上が「25. 時の鐘の旧地」



25. 時の鐘の旧地

空き地に何も残らない。開港場・関内外に鐘の音が響き渡ったことだろう

25A. 横浜市民ギャラリー

興味深い企画展が催されている。切通へ下る途中で切通崖を観察しよう

25B. 野毛切通

随分深いが数度の切下げ・拡幅を経て現在に至る。左右は造成の時代を物語る多様な擁壁の継ぎ接ぎ。市電が走っていた時代がある

25C. 野毛亀甲擁壁

野毛山住宅亀甲積擁壁は野毛交差点西北角、明治の相場師・実業家・政治家である平沼専蔵邸の名残。これから進む一帯は往時の別荘地

案内2. 前半を終了する場合

切通を真っすぐ下ると日ノ出町駅

横濱の史跡と名勝 第2回 久保山台地を巡る 前半

